



ちば自殺対策県民フォーラム

いのちとこころを 考えるちば

生きやすい社会へ向けて —今私たちにできること—

毎年約1,300人、心理的に追い込まれ、人生の途中で逝ってしまった人がいます。そして、その何倍もの遺された者たちは、語ることでできない悲しみや辛さを抱え込んでいます。自殺に追い込まれる人をなくすため、遺された者にとっても生きやすい社会にするため、今、私たちにできることを考えます。

講演

こころのメッセージ

「自死で母を亡くして」

話し手：弘中 照美 氏 (多重債務による自死をなくす会)

「多重債務の解決に向けて」

講師：陶山 嘉代 氏 (千葉県弁護士会)

パネルディスカッション

生きやすい社会へ向けて —今私たちにできること—

パネル展

遺族が語る自死者の メッセージ

平成20年

日時 **1月12日(土)** 13時から16時30分 (開場12時30分)

場所 **プラザ菜の花 3階 大会議室**
・JR本千葉駅から徒歩3分 ・京成千葉中央駅から徒歩10分
・モノレール県庁前駅から徒歩1分
駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

定員 **250名** (申込み先着順 入場無料)

申込方法 電話・はがき・FAX・メールのいずれかで、お名前・連絡先・お住まいの市区町村名・参加者人数をご記入の上お申込みください。

お申込
問合せ先 **千葉県健康福祉部健康づくり支援課**
〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1
TEL 043-223-2668 FAX 043-225-0322

メール kokoken@mz.pref.chiba.lg.jp

主催 千葉県、千葉市

後援 内閣府、自死遺族支援全国キャラバン実行委員会、千葉県多重債務問題対策本部、千葉県弁護士会

協賛 日本財団



いのちとこころを考えるちば

「生きやすい社会へ向けて—今私たちにできること—」

日時:平成20年1月12日(土) 開場12時30分 開演13時

場所:プラザ菜の花 3階 大会議室

講演

こころのメッセージ

「自死で母を亡くして」

話し手:弘中 照美 氏(多重債務による自死をなくす会)

プロフィール:重病の兄の治療のためにした借金により自死で母を亡くした経験を持ち「解決の道は絶対にある。解決しない借金はない。お金のために死ぬことはない」と訴え、1人でも多くの命を救いたいと相談を受けて支援に取り組む。

「多重債務の 解決に向けて」

講師:陶山 嘉代 氏(千葉県弁護士会)

パネルディスカッション

「生きやすい社会へ向けて—今私たちにできること—」

コーディネーター:亀井 雄一 氏(国立精神・神経センター国府台病院)

パネラー:高橋 広幸 氏(内閣府自殺対策推進室参事官)

陶山 嘉代 氏(千葉県弁護士会)

宮本 俊明 氏(新日本製鐵(株)君津製鐵所産業医)

清水 康之 氏(NPO法人ライフリンク代表)

西田 正弘 氏(分かち合いの会 あんだんて顧問)

パネル展

遺族が語る自死者のメッセージ

お申込先/ 千葉県健康福祉部健康づくり支援課あて

ちば自殺対策県民フォーラム参加申込書

お名前	
連絡先	
お住まいの市区町村名 (又は 所属)	
参加人数	名

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

はがきで 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1

電話で 043-223-2668

メールで kokoken@mz.pref.chiba.lg.jp

FAXで 043-225-0322